

経営課題解決に向けて持続化補助金を活用

カフェギャラリー&ミュージック 桜ノ木

代 表 者 肥沼 司

住 所 松本市安曇大野田 216-1

連 絡 先 0263-31-3424

営業時間 平日11:30~18:00、土曜日10:00~17:00、
日曜日10:00~16:00(定休日:月・火曜日)

URL <https://sakuranoki-matsumoto.amebaownd.com/>

Instagram @sakura_no_ki_matsumoto



日常を楽しむ生活スタイルの提案ができる場所を、松本市で創業



ドラムサンダー

神奈川県出身の肥沼司さんは、岐阜県 高山市の家具メーカーでデザイン・設計・営業に長年携わってきた。「日常生活に彩を与えるモノづくり」と「生活スタイルの提案」ができる場所を作りたい思いから創業を志し、退職後間もない2021年3月に当所への初回創業相談に来所。松本地域創業スクールへ参加するため毎週高山市から松本市まで通い、創業計画のブラッシュアップと人脈作りなど準備を着実に進めてきた。そして「CAFE・GALLERY&MUSIC 桜ノ木」を2022年5月創業。同店は店名どおり「CAFE」「GALLERY」「MUSIC」を三本柱に日常を楽しむ生活スタイルを提案する。創業後は当所へ入会し、会報等で補助金等の情報収集をして次なるステップに備え、また当所からのアドバイスを参考に、初めての確定申告を自らの手で無事に済ませることができた。

創業初年度の経営課題解決に向けて

2023年8月に経営状況のヒアリングをしたところ、創業時の目標が達成できず、肥沼さんからは「地元の集客に苦戦」「物価高騰による利益率の悪化」が問題点として挙げられた。問題解決には肥沼さんが既にアイディアとして温めていた販路開拓の取り組みを実行して問題解決を図ることで、集客力の向上、商品力の強化による収益性の改善が見込め、資金面の目途も立ったことから、肥沼さんは小規模事業者持続化補助金への挑戦を決意。補助事業では設備投資が伴い、持続化補助金の通常枠では不足となるが、肥沼さんは当所主催の「松本地域創業スクール」卒業生であることから創業枠（現在は創業型）の要件を満たし、補助

額を200万円に増額して対応することができた。約3ヵ月間かけて申請書類の作成を当所とともに、中小企業診断士のアドバイスも仰ぎながら進めたところ、見事採択された。

支援の成果

「補助金で導入した大型看板は通行客への認知度向上につながり、特に冬季間の売上が倍増するなど大きな効果がありました。製粉機や加工工作機械の導入により、お客様の多彩なニーズに答える体制が整いました。薪ストーブは顧客との会話が弾むきっかけとなっています。」と補助事業実施後の状況について語る肥沼さん。着実に販路開拓を進め、売上を確保して経営状況も軌道に乗りつつある様子が窺える。また、肥沼さんは「地元ではない場所での創業でしたが、商工会議所にはいろいろ教えていただき心強かったです。今では地域の皆さんとも繋がりができ、今後は高山との中間点であるこの地で、松本市と高山市の橋渡しの存在になれたらと考えています。創業直後は計画通りに進まない場面もありましたがその都度、創業動機や経営理念を振り返りながら耐え、軸がぶれない経営をしてきて良かったです。」と語ってくれた。

真摯な経営姿勢の肥沼さんを、当所はこれからも応援し続けたい。（経営指導員：山田聡）

薪ストーブ

